

# 総務産業委員会報告書

令和2年1月17日

備前市議会議長 立川 茂 様

委員長 石原 和人

令和2年1月17日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案	件	審査結果	少数意見
議案第1号	備前市新庁舎建設(Ⅱ期解体及び付属施設整備)工事の請負契約締結について	原案可決	あり※

※ 別添少数意見報告書のとおり



## 総務産業委員会記録

招集日時	令和2年1月17日（金）	第1回臨時会休憩中			
開議・閉議	午前10時13分	開会	～	午後2時02分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第1回臨時会）の開催			
出席委員	委員長	石原和人	副委員長	藪内 靖	
	委員	川崎輝通		土器 豊	
		掛谷 繁		尾川直行	
		田口豊作			
欠席委員		なし			
遅参委員		なし			
早退委員		なし			
列席者等	議長	立川 茂			
傍聴者	議員	なし			
	報道	なし			
	一般	なし			
説明員	総務部長	高橋清隆	契約管財課長	梶藤 勲	
	施設建設・再編課長	砂田健一郎			
審査記録	次のとおり				

## 午前10時13分 開会

○石原委員長 ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

直ちに本委員会に付託されました議案の審査を行います。

議案第1号備前市新庁舎建設（Ⅱ期解体及び付属施設整備）工事の請負契約締結についての審査を行います。

本案につきまして、質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○川崎委員 本会議でも質疑があったんですけど、去年の11月26日に談合情報の提供があって、調査委員会があったという流れなんですけど、12月定例会直前の動きなんで、こういう談合情報が提供されて、先ほどの執行部の答弁でも入札調査委員会を開く条件に合ったんで、委員会を開いたんだったら、今談合情報が入って調査しよんじやというぐらいのことは会期中の総務産業委員会に報告があってもいいんじゃないかと思うんですけど、なぜ報告がなかったのか。答弁をお願いしたいと思います。

○梶藤契約管財課長 談合情報につきましては、いろんな入札において情報があって、このたびのように談合情報として取り上げて委員会を開くというような案件がございます。その案件につきまして、今回の場合は委員会としては談合が認められなかったというようなことで、調査委員会として事件として認められなかったということで報告についてはさせていただいておりませんでした。今後、このようなことについて必要ということであれば、報告を心がけてまいりたいと考えております。

○川崎委員 心がけるとかじゃなくて、調査委員会も開いてやりよるということになると、議会にとってもそういう議案が出てくるのはもうわかり切ったことなんで、10月には全てが終わって落成式をやる。そういう工事経過の中での談合情報なんだから、そういうのは慎重に調べているというぐらいの報告があってもいいんじゃないかというのを1点思います。

ことしになっての情報だとか日程的に間に合わんのであれば仕方がないけど、これもう12月定例会の真っ最中じゃないですか。その辺の姿勢が、それぞれ責任を持ってやっとするのであれば、そういう情報が入るとんで、慎重に調査していますぐらいの報告は当たり前ではないかと。絶対に報告があるべきだと思います。

そういう前提でもう一点は、先ほど金額的な情報が違うんで談合ではなかったというような説明に聞こえたんですけど、もう一点肝心なことをお聞きするんですけど、談合情報の提供者はこの入札参加5社ではないのかどうか、名前が公表できないのであればこの5社の中からそういう談合情報が出たのか、それとも5社以外の会社なのかという点、会社とかではなくて名前もはっきりしとるんで、調査の対象になったということなんで、どういう人だったのかという点をはっきりさせることと、談合情報の中で金額の問題と、もう一つ大事なのはどこが落とすと、事前に打ち合わせができるとるという情報ではなかったのかなと理解するんですけども、そういう場合には新庁舎のときにも指摘したと思いますけれども、岡山市などは事前に出た業者名と実際の落

札業者がはっきりしている場合には調査委員会でも無効にするというたか、途中で指名をとめるというたか、はっきりわかりませんが、そういうことははっきりさせとらしたい。その点はどだったんでしょうか。金額が違うというのは言われていましたから、落札業者はどだったのか、はっきりさせてください。

**○梶藤契約管財課長** まずどなたが談合情報をということからお答えさせていただきます。

個人様なんで、個人名についてはここでは控えさせていただきますが、業者の方ではございません。5社の中ではございません。

どこがとるかという情報ですが、寺見建設がとるといような情報でございました。

岡山市では入札をとめるようなことがあるんじゃないかというお話がありましたが、入札前に調査委員会を実施して、業者からの聞き取りをもとに入札を執行するか、談合が認められて入札中止にするかというような委員会を開いて、聞き取りの内容だけでは談合は認められないということにより入札を執行させていただいております。

**○川崎委員** この入札結果を見ますと、価格開札年月日が12月4日ということで、最低価格がこういう人だったということまではそうでしょうけど、最終的に落札者決定年月日が次の日に、1日置いてやるとるわけですよ。ということは、12月4日に開札する中で、はっきり事前の情報と同じ人が実際に価格的に落とすとるということになれば、次の日に調査過程で問題なかったからそのとおりいくんだというのはどう考えてもおかしいんじゃないかと。本来は、情報と一緒に落札者決定というのはできないのが普通じゃないですか。岡山市などはそういうことははっきりさせとるといことじゃないですか。何で備前市の場合はそれが前へいくんですか。事前の情報と同じ人が落とすとったら完全な談合じゃないんですか。これを談合と言わずに何が談合になる。この5社が、我々が集まってここが落とすのをくじ引きで決めましたという情報が流れ限り、備前市の場合は談合にならんのかな。どう理解したらいいんですか。

**○梶藤契約管財課長** 事前に情報のあった方が落札したということで談合の疑いがあるのではないかというお話があったと思います。12月4日に落札予定者が決まった段階で、全5社に内訳書を提出していただき、その内容、金額等を精査してそこで委員会を開いております。その委員会において、見積書の内容では疑いは持てないということで落札者の決定に至っております。入札談合の情報を提供した方の業者名と落札者が一致したということが、イコール談合というのはいい切れません。疑いは持てるかもしれませんが、談合であるとい切ることにはできません。調査委員会において必要な調査の中では認められなかったということで、市の調査としてはそこまでしかできないと。警察等に通報していますので、警察等の調査でもしもそういうことがあれば今後出てくるかもしれませんが、市としてはそれ以上のことはできませんので、今回の入札に関しては誓約書をとって落札という形となっております。

**○川崎委員** もう一つ不思議なのは、予定価格も2億円を超えるようなケース、普通の建設業でもJVを組んでやっていますよね。例えば日生保育園なんか3億円でしたけど、たしか2社のJVでした。こういう建物も含めてやるんだしたら、解体が得意な業者と建築が得意な業者のJV

なんかが組んでやれば、それと総合点の800点というのがどういう点数かよくわからんですけど、1億2,000万円から条件つき一般競争になるんか、指名との分かれ目だということなんですけど、JVを組めばより多く地元の業者が公共事業に参加できたんじゃないかな。なぜ1社だけの条件つきにするのかなあと。同じ一般競争入札でも新庁舎なんか3社のJVでしたか、せめて2社によるJVを組めばより地元の業者の参加があり得たんじゃないのか、なぜそういうことをしなかったのかについてもお聞きしておきたいと思います。

**○梶藤契約管財課長** JVについては、基本的には3億円以上となっておりますので、通常でいけば3億円を超えておりませんので、JVを組まずにという発注になります。あと、土木と建築というようなお話があったんですが、今回の800点以上につきましては、ほぼ同じ業者がそのランクに当たる業者となっておりますので、そんなに違いはないと。あと、そちらの資格を持っている業者につきましても、解体の資格もっておりますので、単体の発注という形で行わせていただいております。

**○石原委員長** ほかに。

**○掛谷委員** 談合情報を警察に知らせているということですけども、警察は動いているのか、いないのか、そこはなかなか難しいんですけど、その情報はどの程度入っておるんですか。

**○梶藤契約管財課長** 市の情報については警察に提供しておりますが、警察の動きにつきましては、全く情報は入っておりません。

**○掛谷委員** ということは、何かない限りはこのまま警察は何もないかもわからない。あれば、報告があるというのが通常でしょうから、きょうが1月の中旬ですけども、待つ以外はないということではないでしょうか。

**○梶藤契約管財課長** 今後、例えば捜査がもっと必要だと、警察から情報提供を求められるようなことがあれば協力することはできるんですが、警察が今どういう動きをしているというのを逐次いただくことはほぼないので、もしも何か動きがあれば、それで情報が得られるという形になるのかなと考えております。

**○掛谷委員** 今回、附属施設整備と解体工事を一括と、じゃあ分離発注するよりも早くて、同じ業者で効果があるんだということを答弁されましたが、分離したからといって解体した後に倉庫、車庫をつくるとか、特段そんなに問題はないんじゃないかと思ったりするんですけど、そういう比較をされて検討されてそうだったというものがあれば何か示していただきたい。

**○砂田施設建設・再編課長** 委員がおっしゃられているような比較というものはつくっていません。判断としては、まず個別にするとその工事が終わってからでないで次の工事にかかれないうことがございますが、一体で発注すればシームレスでずっと続けてやっていくんですけども、中断期間が出てくるとすると、最終的に外構工事の終わりが大分長引いてくる。今でも、駐車場が足りない状況の中で一刻も早く駐車場の整備をしたいという思いがあったというのがまず1点。

それから、工事を分けるとそれぞれに仮設をまた新たにやりかえなくちゃいけないと。例えば

一番わかりやすいのは、外周の囲いです。それごとの工事でありますから、一旦撤去した上で、また次の工事で外周の囲いをやるといったことで、そういった面での経費がふえてくるといったことがございます。特に解体工事などの場合に、その後にもた違う業者が入ってくると前の解体撤去したものの中に何か少し残っているとといった場合にどちらがとるのかとか、そういった整理が少し難しくなるのもございます。なので、こういった同一敷地の中で連続して工事をする場合は、一体で発注するほうが後々のそういった責任分担といったものについても整理がしやすいと考えております。

○尾川委員 調査委員会の正式名称、メンバーとその議事録を見ることはできるんですか。

○梶藤契約管財課長 議事録はできていないと思うんですが、メンバーは指名委員会のメンバープラス建設関係の課長ということで、指名委員会のメンバーが副市長、市長公室長、総務部長、市民生活部長、保健福祉部長、建設部長、産業部長、教育部長と、あと課長が建設課長、水道課長、下水道課長となっております。

○尾川委員 警察へ通報して返事がないということは説明があったんですけど、通報したのはいつで、その通報に対する回答というのは求められるのかな。それとも、時間をはかってこの臨時会にしたんか、そのあたり詳しく教えてもらえたらと思うんですけど。

○梶藤契約管財課長 通報いたしましたのは11月27日なんですが、いつまでに回答ができますとか、いつまでに調査が終わりますというようなことは通常いただかないと考えております。

○尾川委員 要するに、契約議案が出とるわけじゃ。便りのないのはよい便りという考え方でしかないということ。市としてわざわざ通報しとるわけじゃろう。それに対して何の返事もないんかなということと言よるわけです。

○梶藤契約管財課長 この案件について、実はきのう警察にお邪魔したんですが、進展があるという話は伺ってはおりません。引き続き、情報整理をしていくということでお話を伺っております。

○尾川委員 それで、市としたら今の状態が判断した結果ということ。

○梶藤契約管財課長 市としては、委員会で判断した結果で認められないということで、落札者の決定といたしております。

○石原委員長 ほかに。

○田口委員 談合情報については各委員が質問されたんで、省きますけど、今玄関の横もつなぎの部分のH鋼がむき出しの状態ですよね。当然、解体してからでないといと工事ができないということですから、そもそも最初の本体工事に残りの工事の部分が含まれているのかも詳しくよく読まないんで、わからんですけど、後から行われるこちらを解体して廊下部分つなぐ工事、それから外構工事、それから舗装工事を含めてそれぞれの金額がきちっと出ていないと入札もできないですよね。そういう金額というのがわかれば工事の内訳を教えてくださいなと思うんですけど。

○砂田施設建設・再編課長 設計書をつくっているわけなので、個々の工事の内訳は全部出てい

ますけども、かなりの量がございます。今手元に設計書を持っていないので、個々の金額をお伝えすることはできないんですが。

○田口委員 外構工事と大きく舗装とか分けて、本体の廊下の最後の仕上げがどのぐらい残っているのかという程度でいいんですけど。

○砂田施設建設・再編課長 大きなくくりとして建築一式工事、土木一式工事、それから解体工事の3点では集計しておりますので、その数字をお伝えいたします。

建築工事につきましては、1億2,825万円、これには電気、機械を含んでおります。それから、土木一式工事、これは外構工事のみで4,448万円です。解体工事につきましては7,373万円でございます。共通費がございますので、そこは案分しております。なので、金額的には万円単位で丸めた数字でお示しをしております。

○田口委員 後で結構なんですけど、庁舎から北へ向いて廊下が出るようになっていきますよね。そういう部分の本体に附属した部分の金額を教えてください。要は残工事です。

○砂田施設建設・再編課長 今のは資料請求ということなのかと思うんですけども、今3本の柱を立てて奥の歩廊をつくっていますけども、その残り部分の金額をお知りになりたいということでしょうか。

〔「はい」と田口委員発言する〕

それは改めて提出をさせていただきます。

〔「お願いします」と田口委員発言する〕

○川崎委員 関連なんですけど、今玄関前まではできとるけど、それが図面ではずっと北へ行くわけで、それは本来本体工事に含めた金額で、今回の工事とは関係ないんじゃない。じゃから、未完成工事という形で残っとんかなあという理解なんじゃけど、田口委員は別の金額みたいな表現しとったんで、はっきりさせていただきたい。

○砂田施設建設・再編課長 今回の庁舎建設工事の中では、今できている3本の柱部分までの契約でございます。今回の議案の中の工事については、残りの柱4本分の工事部分を計上しております。

○川崎委員 それで、きょう中西議員が質問したんやけど、8月20日の総務産業委員会と今回出ている資料が違う。8月20日の資料を見るとこの2月から9月ごろまでの工事では外構等Ⅰ期工事になっとんじゃ。ところが、今回はⅡ期解体及び付属工事。長期的に新庁舎建設に関する日程を出してきたわけじゃから、単なるミスだというふうには思えませんね。というのが、8月20日では、10月ごろから外構Ⅱ期工事という表現しとるわけじゃ。ところが、今回はⅡ期解体工事でしたか、Ⅰ期がなくてⅡ期解体工事。新庁舎を建てるところ、保健センターと福祉事務所を解体したというたら解体したけど、あれをⅠ期と捉えるから今回はⅡ期解体工事となっただろうかわからんけど、去年8月の段階でⅠ期外構工事、Ⅱ期外構工事と明確になって、それがこの臨時会に名前が変わって出てくるというのは、実務的にもどうなっとんのですかという率直な質問で、これだけ去年の6月からことしの2月完成予定を目指してスケジュールは組んでいるん



じゃから、その表現が単なるミスですという問題ではないと思うんですけど、何でこんなことになっとなですか。

○砂田施設建設・再編課長 お示した資料にそこがある点については深くおわびを申し上げます。かなりたくさんのお仕事を発注しているということもあって、全部合わせると30件程度にはなると思うのですが、それを段階的に発注していく中で、全く勘違いをしていて、I期解体というのは保健センターの部分です。今回は、II期解体だったんですけども、I期分を失念しまして、I期解体工事という表現をしてしまっていました。

○川崎委員 もう一点、8月に出して半年ほどたったらころっと表現が変わるということ自体、8月の資料一体どう捉えとったんかと。そういう資料の継続性もないまま、ころころ議会用の資料を適当に出しやええんだという捉え方しかしていないんじゃないかと。そういう意味では、実務的にも議会軽視のあらわれかと思ったりするんですけど、それはそれでミスだというんだから仕方がないですけども。

もう一つ大きな点は、守井議員から聞いたんですけど、解体工事独自でしたらもう最低制限価格というのではないらしいですよ。ところが、付属設備という建築工事があるんで設けたんじゃないかと。そういう意味では、わざわざ設けるということ自体ある意味では官製談合に近いんじゃないかと疑わざるを得ないですよ。

本来、この新庁舎建設を考えると、今さっき勘違いしとった保健センターと福祉事務所は独自に解体だけを発注しとるわけじゃ。はっきり言って解体というのは付加価値のある建物という価値をゼロにするための仕事だから、単価的に諸経費と人件費だけでできる工事なわけじゃ。ということになると、もう業者の実力次第では実例を言っていましたけど、例えば吉永病院であれば見積もりの約50%で解体工事を契約したらしいです。だから、今回も7,300万円程度の解体工事費だったら、半分なら3,000万円か4,000万円できとる可能性も十分にあるのかなと。わざわざこのステップ1、ステップ2を見ても表現の間違いがあるだけで余り変わっていない。この8月20日と今回の資料というたらほとんどステップ1からステップ4についての工事工程表というのはざっと見た限りほとんど違いがないという中身でいけば、もう明らかにこれ別々に発注したような図面に見えるわけじゃ。

実際に、ゼロにする解体という工事と建物をつくる工事というのは別にして十分じゃないかな。今は新庁舎建てるんで完全にこの新しい建物を建てるどころ、倉庫棟のところは今の新庁舎内で隔離されとるわけじゃから、今までの流れからいうと応援するわけじゃないけど、今新庁舎をやっている業者に裏の倉庫もやってもらえばその囲い内じゃから、道具も何も皆そろるとんやから、きれいに新庁舎ができた段階で、基本は入札だと思とんやけど、関連の玉泉跡なんかの論理からいえば、今新庁舎をやっている3社のJVに頼んだほうがいいんじゃないかなあ。解体は解体でやれば、より安く競争できとんやないかなあという率直な思いがあります。その点についてはどう考えておられますか。

○梶藤契約管財課長 解体工事の最低制限価格について説明させていただきます。

確かに、合併当初につきましては解体工事についての最低制限は設けられてございませんでした。今現在のところ、解体工事につきましても建築、建設、土木工事同様に最低制限価格を設けさせていただいています。率についてはもう同率ということで、分けて発注すると最低制限が低いんじゃないかというようなことには当てはまらないことを御説明させていただきます。

○川崎委員 答えてないんじゃないけど。

その論理でいくと、玉泉跡の駐車場にしても、建設残土を入れる意味でもその業者に頼むのがより安いというから、本当は地元の業者に仕事を出してやってほしいなあという気持ちがありながら、安いんだから、工期が早くなるからしょうがないでいくと、この建築物というのはほとんどが囲いの中の問題じゃろう。何でそこと話し合いをして、そこのほうがもっと安くしますよというんじゃないらこんな1億2,000万円も、外構工事が入るとるから建築だけじゃないんだと思うけど、今回その辺の検討をされたのかどうか、確認の意味でお聞きしておきます。

○砂田施設建設・再編課長 現契約の内容を行うのがJVの目的でございます。玉泉につきましては残土処分かわりにそちらに持って行って造成するということがあるので、JVにやってもらったんですけども、それ以外の工事、今回の全く別件の解体工事を新たにJVと随契するというのは多分できないと思っています。

○川崎委員 解体工事を今の業者へとは一つも言っていない。この付属施設整備工事は今の敷地内じゃないですかと、この図面見る限り。今囲いした5メートルほどの白い壁の内に建てるのであれば、この付属施設整備工事は今のJVの業者に頼んだほうが重機を運んだり、今一生懸命内装工事をやりよんじゃないから、その人員をプラスアルファして材料を持ってきたらすぐできて、もっと安くできるんじゃないかと。もう一つはこの整備工事というのは別の入札でやっても1億2,000万円だったらこれも条件つき一般競争入札になるような金額なんじゃないから、何でそういうことをやらないの。わざわざ新庁舎を分離発注で建築工事と電気工事と機械工事と3つに分けて、より地元の業者に仕事を与えるような発注の仕方したんじゃない。何でこれ解体と、この図面見る限りそういうふうな方向でやりますという図面になっとんじゃないねえん。

○石原委員長 暫時休憩いたします。

午前10時49分 休憩

午前10時57分 再開

○石原委員長 それでは、委員会を再開いたします。

答弁よろしいですか。

○砂田施設建設・再編課長 今回、土木一式工事、建築一式工事、それから解体工事を一体で発注しておりますけども、この件につきましては全体の工事の円滑な進捗と、それから工期の短縮も含めて考えたものでございます。単体に発注した場合と比較して金額的に高くなるわけではないので、今回についてはこういった執行の仕方をしたいというふうに考えた次第でございます。御理解のほどよろしく願いいたします。

○石原委員長 ほかに。

○掛谷委員 中西議員からもあったと思います。この3ページの既存庁舎解体工事の庁舎新館、庁舎旧館、その他のエレベーター棟、陸橋棟、また2番の附属施設整備工事の車庫、その他この内訳書はいただけますか。

○砂田施設建設・再編課長 設計書をつくっていますから、それぞれに積み上げたものは出てきます。ただ、今おっしゃられるように項目ごとに分けていくとかなり煩雑になってくるとは思います。出せないことはないです。そういったものがどうしても必要であるということであれば、また時間をいただいて提出させていただきたいと思います。

○掛谷委員 きょうじゃなくていいんで、これだけいろいろがたがたしておるならば、この入札についての、エレベーター棟や陸橋棟なんかは出ると思いますし、解体の内訳についても積み上げた根拠があるんじゃないですか。

○石原委員長 休憩いたします。

午前11時00分 休憩

午前11時22分 再開

○石原委員長 委員会を再開いたします。

○掛谷委員 資料提供がありましたので、説明をお願いします。

○砂田施設建設・再編課長 まず、平面図をお示ししています。色が少し濃い目についているところが今回対応しているところになります。

南から北に縦に長いのが歩廊の延長部分です。あと、車椅子用の駐車場には屋根がつくということです。それから、駐輪場があつて、車庫、倉庫棟があつてリサイクルステーションとなっています。

裏面が、車庫、倉庫棟の図面です。もともとは鉄骨造の2階建てとしておりましたけども、倉庫棟については玉泉跡地に確保できるということなので、平家にして、主に車4台分の車庫になっているということです。

その次にお示ししているのは、これはリサイクルステーションです。これも構造的にはガルバリウム鋼板で外壁をつくって屋根を載せてという、かなり簡易な構造で計画されております。

あと最後に、歩廊部分の図面つけております。

西立面図とありますけど、そこに今回の工事と別途工事って書いてありますけども、別途工事というのが今やっている建築主体工事に対応した部分です。構造的には鉄骨で組んで、それに屋根をつける、柱を装飾する、そういった構造になっています。

大まかには以上でございます。

○川崎委員 大体の流れはわかったんじゃないけど、最初説明した内訳で外構工事が4,448万円で、建築工事が1億2,825万円と言うたろ。これ、車庫とリサイクルの建物合わせてそれぞれ何平米。33平米があんた、1億2,000万円もすりゃせまあ。廊下を入れての話だろうけど。

〔「33平米がどこにあるかわからないんですけど」と砂田施設

建設・再編課長発言する]

〔「廊下が入っとうろ」と掛谷委員発言する〕

あっ、33坪、99平米。これはどれが99平米なんか。これ合わせたやつ、車庫とリサイクル合わせてたった30坪で1億2,000万円もするん。廊下入れて。その内訳を教えてよ。

○石原委員長 説明をしていただきましょう。

○砂田施設建設・再編課長 面積的には、これ車庫棟と、ちょっと待ってください。

〔「①から言うてほしいんじゃけどな」と掛谷委員発言する〕

濟いません、この車庫、倉庫棟で99平米ですね。ほかは入っていないようです。

○川崎委員 リサイクルのこの建物は何平米。

○砂田施設建設・再編課長 23平米です。

○川崎委員 たったの7坪ほどか。

最初の説明で、解体工事が7,373万円、附属設備建築関係が1億2,825万円、外構工事が4,448万円とあったんだけど、外構工事はそんなもんかなと思うたりもするんだけど、建物の1億2,000万円の内訳を教えてよ。

○砂田施設建設・再編課長 濟いません、今まだその内訳をお示しできる状態じゃないんですけども。

○川崎委員 1億円のうち、倉庫とリサイクル、廊下、この3つの仕分けぐらいできとうろ。

○砂田施設建設・再編課長 お時間をいただいて、これから明細書を整理して、各施設の金額を算定したいと思います。

○石原委員長 休憩いたします。

午前11時27分 休憩

午後 1時29分 再開

○石原委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

休憩前に要求しておりました資料、お手元に届いておるとお思いますので、説明をお願いします。

○砂田施設建設・再編課長 まず、表のつくりから説明いたします。

縦に3つ欄があつて、建築、外構、解体を電気設備、機械設備ごとに集計をするんですが、その中で建築と外構と解体を横軸で整理しています。それぞれ直接工事費を出して、それに諸経費率を掛けています。諸経費率というのは共通費のことで、消費税を含んでおります。それで、建築、外構、解体などで違う数字が出ています。これはそういった違う率を使うということになっていますので、そういった数字になっているということです。

それでまず、建築の横軸のほうを見てもらいたいんですけども、車庫・倉庫棟、駐輪場、駐車場上屋、それぞれで設計価格を表示しています。電気設備、機械設備についてはそれぞれあるんですけども、これを案分するというか、分けるのが難しいので、電気は一本になっています。あと、機械は車庫・倉庫棟とリサイクルステーションに計上があります。合計で9,900万円ほ

どになっています。先ほど、1億2,800万円程度の数字を申し上げましたが、それは電気、機械について解体分と新設分が一緒になっていたのも、今回面積などで案分して振り分けをしています。

次に、外構工事につきましては、機械設備が若干入っておりますので、合計して4,550万円というような設計金額です。

あと、解体です。先ほど申しましたように、電気、機械を分けられていなかったのも、全部建築工事に入れていましたけど分けています。新館、旧館につきましては中身を分けるのにかなり時間がかかるので、今回は面積で案分した数字を入れております。合計で2億4,647万7,000円が設計金額です。

○川崎委員 解体はよくわからんので、何とも言えんのですけど、建築、例えば車庫・倉庫、直接工事費1,289万円で、諸経費が130万円。

○砂田施設建設・再編課長 直接工事費に諸経費率の1.3794を乗じて1,778万円と出ています。ですから、諸経費というのが37.94%あると見ていただいて結構です。

○川崎委員 建物としては1,240坪というたら坪30万円今プレハブみたいななんをするんかなというのはあるんじゃないけど、この図面見たらこれ20メートルほどの長さじゃろう。こんなもんがあんた、2,900万円もかかるん。直接工事費、何か諸経費を入れたら4,000万円にもなるというのがようわからん。

○砂田施設建設・再編課長 歩廊上屋のことをおっしゃっているのかと思いますが、これが設計の積み上げの金額です。

○川崎委員 だから、たった20メートルでこんな。直接工事費が2,900万円で、諸経費率というのを全然理解できんのだけ。解体は解体で別のところへ出てくるんじゃないから、この諸経費率そのものが37.94%という意味なんかよくわからんけど。こんなものが20メートルで諸経費入れて4,000万円もするんかな。1メートル当たり200万円もするというたら、橋が何ぼかかるんかな、1メートルが1,000万円かかるかな、橋とは比較にならんか。それにしても、4,000万円もかかるような残りになる。それなら今のところだけでも3,000万円ぐらいかかるとんか。

○砂田施設建設・再編課長 これは今発注して今3本分ほどできていますけども、これと同じ積算になっています。それが、4本分の柱になっているということでございます。

○川崎委員 だから、結局備前焼を全部張りつけるん。

○砂田施設建設・再編課長 備前焼については今と同じ形ではないんですけども、張りつける予定にしています。

○川崎委員 今と同じような値段で単価を出しとるというたら今と同じような備前焼は、北側で余り玄関と直接関係ないから半分ぜいたくかなときょうの昼休みも議論したんだけど、その単価でいっとるという説明じゃないん。

○砂田施設建設・再編課長 備前焼だけで構成されているわけではないので、鋼材であるとか、

その他いろんな部材が重ね合わさってこの金額になっているということです。

○川崎委員 だから、備前焼が別としたら鋼材の真ん中に柱が2本立って横木を出しとるだけで、屋根をつけとるだけじゃが。そんなもの建築というよりもまさに車庫というたらええんか、何というたらええかわからんけど、建築物としてそんなに単価が高くなるようなものじゃないと思うんだけど、屋根の平米でいうたら何平米あるん。

○砂田施設建設・再編課長 60平米です。

○川崎委員 備前焼の単価がわからんけど、60平米で4,000万円というたら1平米当たり70万円弱、六十何万円ものあんな、軒しとるだけのものが平米当たり60万円も70万円もするよな、とんでもない金額じゃな、しかし。素人がどう考えても鉄骨して屋根に鉄板か何かを張りつけただけじゃが。だから、高いとしたら今のような立派な備前焼を貼ったとしても、そりゃあ普通の公共事業でも平米当たり60万円も70万円もというたら相当立派な建築物ができるはずなんよ。それが4,000万円もするというのは異常と思いませんか。

○砂田施設建設・再編課長 積算した結果であって、このことを言われても私も何とも言いようはございません。

○石原委員長 よろしいでしょうか。

ほかに。

○掛谷委員 今言ったところも非常に高いなあというイメージはありますね。そのほかに外構は駐車場ところの整備とフェンスとか、あと電気、機械、電気機械設備も取りつけるんで、4,556万円ほどになる。これも外構のところの中身を教えてください。

○砂田施設建設・再編課長 外構工事は、基本的にはアスファルト舗装した上でラインを引く、駐車場の区画をつくるということと、周辺の植栽であるとか、そういったものになります。

機械設備につきましては、排水関係の施設になろうかと思えます。

○掛谷委員 街路灯のようなものは、電気設備。

○砂田施設建設・再編課長 街路灯はあるんですけども、分けるのが非常に煩雑だったので、今は建築のほうでも計上しています。

○石原委員長 よろしいでしょうか。

○掛谷委員 これが単価は、大体平米いくらになるんですかね。わかりますか、外構部分の平米単価。

○砂田施設建設・再編課長 外構の面積を手元に持ってないので、調べて報告をいたします。

○石原委員長 ほかによろしいでしょうか。

○尾川委員 今さら言うてもあれなんですけど、考え方をお聞きしたいんですが、今いろいろ指摘があったんだけど、車庫とか倉庫棟の要するに建物そのもののランクというんか、どの程度のもをを考えて設計者に頼んだか、どういう考え方が教えて。リサイクルステーションはええとして、車庫、倉庫について設計を発注する立場で建屋はどの程度で考えとったか聞かせてもらえたらと思うんですけど。

○砂田施設建設・再編課長 当初の計画では、車庫・倉庫棟については2階建てで、鉄骨づくりという形でしておりました。かなりの金額の建物になるということで、たまたま玉泉跡を購入することができて、そちらで倉庫棟をつくることのできるということなので、この場所については市長車であるとか、そういう特別な車を保管するための車庫にするということで考え方を整理し、どんなものをつくるかについては余り大きなお金をかけたくないというのもございまして、昨今そういうプレハブでつくる駐車場、車庫もかなり性能がよいものが出ていて、耐久性もそれなりに確保できるのがあるということなので、これを普通に建築工事で作るよりも安価になるという判断でこういったものを選択しております。

○尾川委員 要するにぜいたくはしてないという理解をしたらいいということですか。

○砂田施設建設・再編課長 機能と経費のバランスを考えてこういった施設にしたということでございます。

○川崎委員 駐輪場が100万円ほどなら、それぐらいじゃろうけど、駐車場の上屋、車庫と上屋とどう違うんか、図面上でいうたらこれ車庫しかなくて、駐車場の上屋というのはどれのことかな。

○砂田施設建設・再編課長 先ほど、この図面を出すときに3つほど今つけていると申しまして、この部分の上屋はつけていません。

○川崎委員 どこのか示してよ、これ。というのが、車庫が1,700万円のできるのに駐車場上屋の屋根みたいなものだけ、L字型の屋根にするんかどうかわらんけど、これが1,000万円というのはとんでもない金額じゃな。この駐車場の角かどっかへあるやつを全部屋根つきにするわけ。それぐらいちゃんと色塗りするか説明してよ。

○砂田施設建設・再編課長 その部分の図面を取り寄せてもよろしいでしょうか。

〔「カラー写真にしてよ」と川崎委員発言する〕

図面なので、色はついていません。

〔「そう」と川崎委員発言する〕

引き続きよろしいですか。

○石原委員長 どうぞ。

○砂田施設建設・再編課長 この上屋につきましては、当初計画から変更しています。当初出てきた内訳表などを見るとこの倍以上の金額だったので、中身を見て鉄骨づくりでここまで大仰なものは要らないと判断して、これもプレハブ等に変えた経緯がございます。

屋根というのが結構大きな屋根で、それを支えるための基礎を含めてそれなりに安全性を確保する上で大きなものになっています。場所は車椅子のマークが入っているところです。そこに四角で枠を囲っている部分になります。

〔「どこへ車椅子の印があるん」と川崎委員発言する〕。

〔「真ん中」と呼ぶ者あり〕

○石原委員長 休憩します。

午後1時46分 休憩

午後1時48分 再開

○石原委員長 再開いたします。

○掛谷委員 今川崎委員が言よる2つの車椅子用の駐車场上屋をつくるという話、1,000万円というのは高いとは思わぬ。一般的にどう思いますか。

○砂田施設建設・再編課長 最初の計画がかなり高くて、おっしゃられるとおりで屋根をかけるだけで何でこんなにかかるのかということで大分設計事務所とも話をした上で、先ほど申しましたように今かなり性能のいいプレハブのものがあるから、まずそちらに変えてみてほしいと。見積もり等もあわせて出してほしいという中でそういった金額が出てきたということです。設計価格についてもそんなむちゃな設計をしているとは判断しておりません。

○川崎委員 もうこういうのを出さずにすぐ契約っていう話になりよんじゃけど、2台分で普通の家庭のじゃったら10万円、20万円の世界じゃから、それが2台分で、1台500万円の車庫やことというのは金メッキでもしとんかなというような話じゃ。

車庫なんかは聞いたんじゃから平米単価を出してみて。この1,000万円の見積もりをしたときの平米単価。そうしないと今は予定価格だけで言よんじゃけど、実際解体費用は1,700万円ほど安くなって、建物が1億円言よったのが2,000万円高うなとんよ。どう考えてもたった40坪ほどで、あと廊下、これが60平米じゃから20坪か。合わせてもたった60坪で1億2,000万円もかかるような話にならんで。60坪で1億2,000万円というたら坪単価は200万円か。

〔「1億2,000万円じゃない」と呼ぶ者あり〕

いやいや、これは今予定価格の問題じゃけど、実際説明があったのは1億2,000万円と言ったわけじゃ。

○砂田施設建設・再編課長 ですから、それは解体工事の部分を分離できていないからそれが入っていた額を計上していたと申し上げました。この中では、それを外して純然に建築部分だけで9,900万円になるというような説明を……。

〔「ほんなら、それでもええんじゃ」と川崎委員発言する〕

○川崎委員 それでもええから、1,000万円の平米単価で教えて。

○砂田施設建設・再編課長 建物ではないので、平米当たり単価で比較するというのは少し無理があろうかと思えます。面積はわかりますから出すことは可能です。

〔「じゃから、出してよ」と川崎委員発言する〕

○石原委員長 休憩いたします。

午後1時51分 休憩

午後1時55分 再開

○石原委員長 委員会を再開いたします。

○砂田施設建設・再編課長 平米数は53平米です。



〔「16坪ほどか」と呼ぶ者あり〕

平米単価は21万9,700円、約22万円です。

○石原委員長 質疑を終了してよろしいでしょうか。

○田口委員 もう一点、この高いっていうのが加工の仕方にもあるんだろと思うんですけど、たしか今玄関部分の施工している部分、柱とか一部、張りとかはメッキでやられとるんじゃないかなあと思うんですけど、今銅メッキのキロ単価を幾らで見ているのか、わかればいいですけど、長いこと私もそういう発注をかけたことないので、かなり高くなっているということは承知しとんですけど。

○石原委員長 わかればということですけども。

○田口委員 後でいいです。

○砂田施設建設・再編課長 調べて報告いたします。

○石原委員長 よろしいですか。

○掛谷委員 新館、旧館の解体がありますけど、ここで言う電気設備、機械設備というところは何なんでしょうか。

○砂田施設建設・再編課長 解体というのは、機械を持ってきて全てばらばらにするということではなくて、分別解体であるとか、資源リサイクルがございまして、そういった資材になるものは別に回収してということになります。ですからまず、解体する前にそういった機械設備を取り除く、電気関係の配線といったものもまた取り除く、特に蛍光灯等については処分管理が厳格になっていまして、そういった手間が入ってまいります。それで、全部とった後に躯体部分の解体が始まる。なおかつ、またその中に鉄筋とかが入っているとコンクリートを小割りにした上で鉄筋をまた回収してリサイクルに回す。コンクリートも細かくして、これも再生砂にするとか、そういったことでリサイクルをするというのが法律でも決められておまして、そういった形で進んでいくと御理解いただければと思います。

○掛谷委員 わかりました。

○石原委員長 質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第1号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」「異議あり」と呼ぶ者あり〕

異議ありとのことですので、挙手により採決を行います。

挙手により採決を行います。

本案は原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数と認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

続いて、少数意見の留保を希望される方の発言を許可いたします。

○川崎委員 一つは、やはり談合問題が出て、問題なしとしてやっとなということにも少し問題があります。警察なんかにも訴えとるというのであれば、入札結果、入札以前の業者がそのとおり入札を落としたということになると非常に談合の可能性があるので、何も1月の臨時会じゃなくても日程的にも3月議会でも結局1週間ぐらいずれただけじゃろうと思います。2月何日かに引越してという言よるわけですから、実際それから準備じゃ何じゃと言ったら3月議会の冒頭でも承認するにすれば1週間か2週間のずれしかないのです、ばたばたしなくてもいいんじゃないかと。だから、逆に言えば冷却期間、談合問題の調査をそれなりに警察の状況を聞きながら問題なしというところまでこういう契約を提案すべきではないんじゃないかなというのが1点。

それと同時に、今見たようにどう考えても外構工事や解体工事とは別に建築工事が予定価格で見ても1億円かかると。じゃあ、1億円の建物は一体どうであったんかというたら、たしか60坪前後プラス廊下だけの長さで1億2,000万円、単価的にいうたら坪単価がとんでもない金額たしか出ていたと思います。ですから、どう考えてもこの工事費が談合したらメリットがあるぐらい単価的に問題があるという印象を受けますので、この2点において談合の疑いと同時に談合するだけのそういう高額な単価で落としているという点は納得できません。それを少数意見として留保したいと思います。

○石原委員長 ただいまの意見に賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

所定の賛成者がありますので、少数意見は留保されました。

直ちに少数意見報告書を作成の上、委員長までの提出をお願いいたします。

以上で議案第1号の審査を終わります。

あわせて総務産業委員会を閉会といたします。

午後2時02分 閉会